

# 校内研担当からだよ！㊦

## ～「つなぐ・つながる」～

令和4年度 愛川中学校

校内研究通信

第1号5月10日(火)

発行者：校内研担当

### ○今年度のテーマ ○

「つなぐ・つながる」

1. 生徒の知識がつながる授業
2. 授業の中で生徒同士がつながっていく授業
3. 授業と評価をつなげていく授業
4. 授業と家庭学習をつなげる授業
5. 学年・校種・教科間をつなげていく授業



### ○授業者・今回のグループ(案) ○

何かあれば本多まで

グループ	授業者	メンバー								
		国語C	社会B	数学C	理科A	英語B	音楽B	美術B	保体C	技術A
A										
B										
C										

### ○時程・役割分担○



#### ●時程 令和4年6月8日(水)

- 昼食 12:35～13:05
- 昼休み 13:05～13:15(着替え)
- 帰りの会 13:20～13:30(13:40までに一般生徒は下校15:00まで家庭学習)
- 研究授業(5校時) 13:40～14:30(場所:技術(技術室) 社会(3年2組) 国語(3年3組))
- 生徒インタビュー 14:35～15:00(場所:技術(第3多目) 社会(3年2組) 国語(3年3組))
- 研究協議 15:00～15:30
- 全体会・指導講評 15:40～16:45

#### ●日程・役割分担

日	グループ	担当	教科	クラス	授業会場	1/死'1-会場	1/死'1-司会	1/死'1-記録	写真記録
第1回…評価	A		技術	3年1組	技術室	第3多目			
検討①5/11(水)	B		社会	3年2組	3年2組	3年2組			
検討②5/18(水)									
授業 6/8(水)	C		国語	3年3組	3年3組	3年3組			



## ○研究協議について○

研究協議は以下の方法で行います。

- ①授業を参観して（テーマに沿った内容等、良い点・改善点）／ピンクの付箋
- ②今後の授業・研修に向けて生かしたい点　／黄色の付箋

授業を通して一人一人の授業改善を目標にして校内研を行っております。先生方には、「自分の授業にどのように生かせるか」「自分ならどんな方法で授業するか」といった視点でご参観いただければと思います。

研究協議では…

こちらの模造紙に付箋を貼っていき、協議をしていただきます。

事前にご確認をお願いします！



授業改善 校内研究テーマ「つなぐ・つながる」			
対象学級	教科	授業者	本時の評価規準
授業を参観して（テーマに沿った内容等、良い点・改善点）			
今後の授業・研修に向けて生かしたい点			

※ピンクの付箋…上（授業を参観して）　黄色の付箋…今後の授業・研修に向けて生かしたい点・その他

## ○生徒インタビューについて（校内研当日までにご確認をお願いします！）○

### ①生徒インタビューを行う目的

生徒インタビューを行うことにより、授業を受けた生徒から「その授業で理解できたことは何か」、「その活動を行って感じていたことは何か」、「こんな授業を受けてみたい」など生きた声を聞くことができます。「生徒が授業の中で感じたことを知る」ことが授業改善につながります。



### ②生徒インタビューの内容

生徒インタビューにおける質問内容は生徒にとって「開かれた問い」になるように心がけます。生徒が思ったこと、感じたことを聞く場なので、私たちが普段考えている指導観で押し量ることなく、生徒の自由で伸びやかな答えに耳を傾けます。相づちやインタビューに参加してくれる生徒に感謝の言葉を伝えながら、笑顔で質問しましょう。

### ③生徒インタビューの隊形

生徒がリラックスしてインタビューを受けるためには、机の配置を扇形にすることで、インタビューを受ける生徒同士がお互いの感想を聞きやすく、お互いの表情を見やすい環境をつくりま

す。また、インタビューの前には生徒の自己紹介を含めアイスブレイキングを行います。

# ○指導案ひな形データ場所など○

「009. E プロジェクトチーム → 005 校内研究 → 00 研究授業」にあります。ご利用ください。

## ○○科学習指導案

愛川町立愛川中学校  
指導者 ○○ ○○

校内研究テーマ

### 「つなぐ・つながる」

1. 生徒の知識がつながる授業
2. 授業の中で生徒同士がつながっていく授業
3. 授業と評価をつなげていく授業
4. 授業と家庭学習をつなげる授業
5. 学年・校種・教科間をつなげていく授業

- 1, 日 時 令和○年○月○日 (○) ○校時
- 2, 学年・組・場所 第○学年○組 (○名)
- 3, 単元名 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
- 4, 単元目標 (1)

(2)

学習指導要領より

5, 本単元に至るまでの指導の系統(本単元と小学校での既習事項との関わりも含む)

学年 単元名	本単元との関連事項
【小学○年】	
【中学○年】	
【中学○年】	

6. 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	㊥知識・技能	㊦思考・判断・表現	㊧主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準			

7. 単元計画

時間	目標	育てたい生徒の姿 (B 評価)
○ ～ ○		
○ ～ ○		

8. 本時の指導 (○時間目 / 全○時間中)

(1) 本時の評価規準

観点	評価規準

(2) 本時の展開

学習活動	目標達成につながる教師の手立て	指導と評価
		◎記録する評価 ★指導に活かす評価
		◎記録する評価
		★指導に活かす評価

## ○見合う授業について○

目的：授業改善のための自己研鑽のため

期間：7月1日（金）～7月15日（金）

やり方：①チームを作り、チーム内で授業を見合う。

②参観レポートを作成し、原本は、参観した授業者の先生へ

コピーを職員室出入り口につける封筒へ（校内研だよりにいくつか載せたいです）



### 「見合う授業月間」参観レポート

日時 月 日 ( ) 校時 授業者 \_\_\_\_\_

学級 年 組 (教科 ) 参観者 \_\_\_\_\_

記述欄

